

製品安全データシート

1. 製品等及び会社情報

1.1 製品の特典

製品名： **NAGR 330**
 主な用途： 鉄系製品、素材などの防錆用

1.2 会社情報

会社名： 旭エンジニアリング株式会社
 住所： 〒553-0002 大阪府福島区鷺洲4-4-3
 担当部門： 管理部 担当者：
 電話番号： 06-6452-5811 FAX番号： 06-6452-5772
 e-mail： osaka@asahi-engineering.com
 改定日： 2015年3月11日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

- ・ 可燃性・引火性エアゾール 区分1
- ・ 急性毒性（経口） 区分4
- ・ 皮膚腐食性・刺激性 区分3
- ・ 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B
- ・ 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 区分3
- ・ オゾン層への有害性 分類できない

GHSのラベル要素

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・ 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
- ・ 高压容器：熱すると破裂のおそれ
- ・ 飲み込むと有害
- ・ 軽度の皮膚刺激
- ・ 眼刺激
- ・ (気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれまたは(麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ

注意書き

- ・ 使用前にラベルをよく読むこと。
- ・ すべての説明書きを読み、理解してから使用すること。
- ・ 上記用途以外には使用しないこと。
- ・ 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
- ・ 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
- ・ 加压容器：使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
- ・ 取扱い後手をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

含有成分及び含有量

成分名・化学名	含有量 mass%	CAS No.	化審法No.	安衛法No.	PRTR 法No.	毒劇法No.
ナフテン系鉱油	30-40	64742-53-6	非該当	168	非該当	非該当
脂肪酸アミン塩	5-8	15816-71-4	非公開	非該当	非該当	非該当
湿潤剤	7-12	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
プロパン（噴射剤）	17-19	74-98-6	非公開	非該当	非該当	非該当
イソブタン（噴射剤）	8-10	75-28-5	非公開	482	非該当	非該当
N-ブタン（噴射剤）	20-23	106-97-8	非公開	482	非該当	非該当

注) 化審法No.	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法No.	労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法No.	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号
毒劇法No.	毒物及び劇物取締法の政令番号

4. 応急措置

眼に入った場合：	清浄な水で瞼の裏まで 15 分以上洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	水と石鹸で付着した部分を洗う。
吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布などで被い、保温して安静に保ち、必要なら医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

消火剤：	水（噴霧）、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他 [アルコールム]
消火方法：	<ul style="list-style-type: none"> 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 風下の人を退避させる。 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
環境に対する注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。 河川や一般廃水溝等に排出しないように注意すること。
除去方法	<ul style="list-style-type: none"> 少量の場合は、砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後完全にウエス等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	<ul style="list-style-type: none"> 眼及び皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用する。 取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行なう。作業着に付着した場合は着替える。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 指定数量以上の量を取扱う場合には法で定められた基準に満足する貯蔵所、取扱所で行なう。 炎、火花又は高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させない。
安全取扱い注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 常温で取扱うものとし、その際水分、きょう雑物の混入に注意する。
保管	
適切な保管条件	<ul style="list-style-type: none"> 容器は密栓し、直射日光の当たらない冷暗所に貯蔵する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	<ul style="list-style-type: none"> ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。 取扱い場所の近辺に洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。 								
管理濃度：	規定なし（作業環境評価規準：労働省告示第 28 号、平成 7. 3. 27）								
許容濃度：	規定なし								
保護具：	<table> <tr> <td>呼吸用保護具：</td> <td>必要に応じて防毒マスクを着用する。</td> </tr> <tr> <td>眼の保護具：</td> <td>必要に応じて普通型眼鏡着用する。</td> </tr> <tr> <td>保護手袋：</td> <td>長期間接触する場合には耐油性の物を着用する。</td> </tr> <tr> <td>保護衣：</td> <td>長期間取扱う場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。</td> </tr> </table>	呼吸用保護具：	必要に応じて防毒マスクを着用する。	眼の保護具：	必要に応じて普通型眼鏡着用する。	保護手袋：	長期間接触する場合には耐油性の物を着用する。	保護衣：	長期間取扱う場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。
呼吸用保護具：	必要に応じて防毒マスクを着用する。								
眼の保護具：	必要に応じて普通型眼鏡着用する。								
保護手袋：	長期間接触する場合には耐油性の物を着用する。								
保護衣：	長期間取扱う場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。								

9. 物理的及び化学的性質

外 観	： 淡緑色液状	臭 い	： 鉍物油及びアミン臭
揮発性	： 僅かに有る	引火点	： 146℃ (COC)
爆発限界	： 上限%：有用な情報なし 下限%：有用な情報なし		
溶解度 水	： 難溶	密度 (15℃)	： 0.915

10. 安定性及び反応性

可燃性：	有り
発火性(自然発火性、水との反応性)：	なし
酸化性：	なし

自己反応性・爆発性： なし
 安定性： 安定
 反応性： 強酸化剤との接触を避ける

1 1. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

成分	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH (TLV-C)	IARC
鉱油ミスト	規定なし	3mg/m ³	TWA 5mg/m ³	規定なし

脂肪酸アミン塩

皮膚腐食性： なし
 刺激性（皮膚、眼）： 長期又は繰り返し接触する場合、刺激性がある恐れがある。
 感作性： 有用な情報なし
 急性毒性： 経口 ラット LD₅₀：644mg/kg
 亜急性毒性： 有用な情報なし
 変異原性（微生物、染色体異常）： 有用な情報なし
 生殖毒性： 有用な情報なし
 催奇形性： 有用な情報なし
 その他： 有用な情報なし

プロパン

急性毒性： 吸入 モルモット LC50（2時間）値：>55000ppm（4時間換算値：>38890ppm）（ACGIH 7th, 2001）
 皮膚腐食性・刺激性： ACGIH(7th, 2001)のヒトでは軽度の紅斑のみが一過性に認められ、皮膚一次刺激性は無視し得る程度であったとの記述から、区分外

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）： ACGIH(7th, 2001)のヒトへの影響として麻酔作用を示すとの記述から、区分3（麻酔作用）

ブタン

急性毒性： 吸入 ラット LC50（4時間）値：277374ppm（ACGIH（7th, 2001）、DFGOT vol.20（2003）、PATTY（4th, 1994）、産衛学会勧告（1993））

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）： ACGIH（7th, 2001）、DFGOT vol.20（2003）、PATTY（4th, 1994）および産衛学会勧告（1993）のヒトにおいて高濃度吸入で麻酔作用または中枢神経系抑制を示すとの記述から、麻酔作用があると考え、区分3

1 2. 環境影響情報

分解性： 有用な情報なし
 蓄積性： 有用な情報なし
 魚毒性： 有用な情報なし
 その他： 有用な情報なし
 オゾン層への有害性： モントリオール議定書規制対象物質を含有しない。

1 3. 廃棄上の注意

製品、容器等の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

1 4. 輸送上の注意

陸上輸送： 消防法等の危険物輸送について定めるところに従う。
 海上輸送： 船舶安全法に定めるところに従う。
 航空輸送： 航空法に定めるところに従う。
 混載禁止： 第1類及び第6類の危険物及び高压ガス。
 国連番号：1950 エアゾール
 指針番号：126

1 5. 適用法令

- ① 消防法： 第4類第3石油類
- ② 労働安全衛生法： 57条の2通知対象物質： 鉱油、ブタン
- ③ PRTR法： 該当なし
- ④ 海洋汚染防止法： 油分排出規制（原則禁止）
- ⑤ 下水道法： 鉱油類排出規制（5mg/L）
- ⑥ 高压ガス取締法： 施行令第3条適用除外に該当
- ⑦ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

※ 都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

1 6. その他の情報

1 6.1 引用文献

- ① 石油製品安全データシート作成の手引き 石油連盟（平成12年7月）

- ② JACA(日本オートケミカル工業会)編集：化学物質管理データベース
 - ③ 原料の製品安全データシート
 - ④ 緊急時応急措置指針 [改訂第3版] 容器イエローカード(ラベル方式)への適用 日本規格協会
 - ⑤ GHS分類結果データベース 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 - ⑥ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)改訂4版 国際連合
-

16.2 JISの有無

有り JIS K 2246

16.3 記載内容の問い合わせ先

連絡先： 旭エンジニアリング株式会社

電話番号： 06-6452-5811

FAX番号： 06-6452-5772

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取り扱う事業者に提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
